

テーマ：「市長に聞いてみたいこと、伝えたいこと」

尼崎市長の稲村です。

早いもので、市長に就任してから4度目の春を迎えました。

別れもある一方で、新しい出会いもあります。環境が変わった方も多いと思いますが、この新たな旅立ちの季節、みなさんは、いかがお過ごしでしょうか。

月に一度お届けしているこのコーナー。今回は、「市長に聞いてみたいこと、伝えたいこと」をテーマに、わたくし、稲村のトークで進めてまいります。

尼崎市役所では、今年度、111人の新たな仲間を迎えました。

実は、私が市長に就任して初めて、3月の末に退職する、送り出す職員の数より、4月の頭に新しく入ってくる新規採用職員の数が多いという、初体験の年となりました。

尼崎市役所は、長年にわたって定数の削減に取り組んできましたが、やはり、必要な所にはしっかりとスタッフを配置して、また、市民の皆さんにも、サービスの向上を実感していただけるように、ますますがんばっていきたいと思っております。

さて、今回は、その新規採用職員の皆さんから、「市長に聞いてみたいこと」、そして「市長に伝えたいこと」を伺ってきました。

というのも、やっぱり新規採用職員っていうのは、まだ、市民の皆さんと同じフレッシュな感覚を持ってると思うんですね。そういったメンバーの質問に答えながら、市民の皆さんにも、私の思いや、これからの市役所の方向性を伝えたい、ということで、時間の許す限り進行してみたいと思います。

4月1日には、新規採用職員の皆さんに、辞令交付ということで、辞令交付式を開催したのですが、やっぱり皆さん、とっても緊張していた様子でした。

でも、私たち、お迎えする側といいますか、新たに新規採用職員を迎え入れる側も、何となくこう、背筋が伸びる感じで、非常に気持ちが改まりました。

その辞令交付式では、そういった新人の皆さんに、わたくしから3つのことをお話しました。

一つ目は、私たちが執行する予算や、私たちが受け取る、給与も、全部は市民の皆さんの税金で賄われているということ。そういったことをしっかりと念頭において、常に向上心を持って学び続けて欲しいということ。

やっぱり、「市役所」というのは「市民の役に立つ所」ですから、市民の役に立つための力や技術

をしっかりと身につけるための向上心を持ち続けて欲しい、ということを伝えました。

二つ目には、**全体の奉仕者として職務を執行することへのプライドを持って欲しい**ということ。

やはり、民間にはできない、行政の役割をしっかりと果たしていく、というなかには、色んな人たちの困難に寄り添い、人生や生活と向き合っていく、という場面が出てきます。非常に重たいこともあるし、しんどいことも当然ありますし、市民の皆さんに厳しいお叱りを受けることだってあるでしょうけれども、そういった「しんどいなあ」、「むつかしいなあ」という時ほど、自分の仕事の意義をしっかりと見直して、プライドを持って仕事に当たってもらいたいと思ってます。

そして三つ目は、**尼崎のまちをよく知って、好きになって欲しい**、ということです。

職員にこの気持ちがまずないと、いいまちづくりはできないと思っていますので、そういったことをお伝えしました。

そして、こういったことに対して、新規採用職員の皆さんから「市長に伝えたいこと」として、いくつか挙げてもらったんですが、例えば、「**失敗を恐れずに、自分のできることは何でもチャレンジしたいです。**」という意見とか、「**フレッシュな目、考えで頑張っていきます。**」というような意見。いずれもやっぱり、この春から社会人という前向きな意見をもらえて、とってもうれしいと思っています。

また、「**プラスアルファのアドバイスや提案ができる、そんな職員、公務員になりたい。**」と書いてくれた新人もいました。こういった積極的な意見も、心強く思っています。

本当にこういったことは重要ですし、自分が力をつけていくのはもちろん、市民の皆さん、そして事業者の皆さんと一緒に力を合わせていく。もしくは、市民の皆さんや事業者の、強みや魅力をもっともっと引き出して、まちづくりにその力をもらっていくことが、これからの市役所には、さらに求められるようになっていきますので、こういった積極的、意欲的な意見、ぜひ、今後の活躍に期待したいと思っています。

そして、三つ目の話ですね。尼崎のまちをよく知って、好きになって欲しいって、「**こんなん、当たり前ちゃうの？**」と思われる方も多いと思うんですが、実は、最近、新規採用職員の全員が全員、尼崎出身というわけではありません。色んな所から尼崎市を受験して、市の職員になってくれています。私たちは、ぜひ、そういった職員を始め、色んな人たちに、尼崎に住んでもらいたい、住み続けてもらいたいと思っています。いずれにしても、私たち一人一人が、尼崎をよく知るといことがスタートだと思います。

特に、尼崎市に暮らしてても、まちのことそんなによく知ってるわけじゃないという人もいると思いますし、一人一人の職員が尼崎を選んで、縁があって市の職員となったわけですから、まず、職員一人一人が、このまちが良くなっていくということに喜びを感じ、市民の皆さんと一緒に「このまちを味わう」という気持ちが、とっても大事だと思っています。

そうはいつでも、すぐに尼崎市内をどんどん巡るという時間が、まだまだ社会人になったばかりの皆さんには、余裕がないかもしれません。

そんななかで、皆さんから寄せられました「市長に聞いてみたいこと」のなかにも、やっぱりこ

ういうのがありました。

「**尼崎を知らない人に、ここがお勧めという場所があれば、教えて下さい。**」とか、「**市長が尼崎で好きな場所はどこですか。**」とか、「**お気に入りの店などはありますか。**」やはり、まだまだ尼崎ビギナーの方々の素朴な疑問というのが、多くありました。

これはやっぱり、挙げたらきりが無いといいますが、色々お勧めしたい所あるわけですし、また、こういった番組でもいつもお伝えしているんですが、何と云っても、まず行ってみたいと思うのは、尼崎の南側、臨海部ですね。

今、兵庫県と尼崎市で、21世紀の森プロジェクトという、昔の工場跡地を、時間をかけて森に育てていこうという環境再生のプロジェクト、もしくは、まだ企業の皆さんも使っている現役の運河が、尼崎のこの臨海部にはあります。

この運河で、パドルボートの水遊びをしたり、もしくは、運河クルーズといって、工場の裏側を少し巡りながら、案内をしてもらえそうな企画など、尼崎のちょっと違った魅力を感じてもらえる場所になっています。

尼崎というと、どうしても「公害に苦しんできたまち」という印象を持っている人が多いと思うんです。この臨海部は工業専用地域ですので、なかなか足を運ぶ機会が少ないと思うんですけれども、今、本当に、青い空、そして緑がいっぱいの、尼崎の環境再生のシンボリックな場所になっています。

また、尼崎閘門、通称「**尼ロック**」と私たち呼んでるんですが、パナマ運河と同じ方式の、船が出入りする門があるんですね。これは、尼崎を災害から守っている防潮堤の所に、ドアのように取り付けられてる門ですが、私たちのまちの防災の拠点でもあります。

そういった防潮堤とか、この**ニロック**の近くには、集中コントロールセンターがありまして、そこでは色々な防災の展示もやっていて、子供たちも社会見学でよく来てくれています。本当に、尼崎のこれまで、そして、これから未来に向けた色々な取り組みが詰まっているエリアです。

ですから、子供たちはもちろんのこと、「**実は尼崎に住んでてもあんまり行ったことない**」という方には、ぜひ一度、足を運んでいただきたい、この21世紀の森や運河の**尼崎臨海部**を、お勧めしたいと思います。

あとここには、県立の「**夏はプール、冬はスケートリンク**」というスポーツ施設もあります。私も、この春小学3年生になりました娘と一緒に、冬はスケートに行ってきました。もう、すぐ筋肉痛になりましたけれども。

家族でも楽しめるスポットになっているので、ぜひ行ってみてください。

あと「**お店**」は、これも色々あるんですけども、スイーツ！

尼崎にもおいしいスイーツのお店がいっぱいあります。アンテノールとか、あとショウタニさん。ショウタニのシュークリームが、まあ、もう本当にお勧めなんです。

皆さん、ぜひ近くのスイーツ、またスイーツのスタンプラリーの企画がありますので、ぜひ、この**尼崎のスイーツ**、堪能してもらいたいと思っています。

あと、「**尼崎のイメージアップのカギは何でしょう。**」

これ本当に今、私たちが力を入れて取り組んでいます。

もちろん、色んなイメージの足を引っ張るような課題にしっかり手当てをしていく、対応していることが大事なんですけど、特にやっぱり尼崎は、全国区でニュースになる、ちょっとネガティブなことが多いんですよね。事故の話であるとか、色んな事件であるとか。

ですので、全国区でポジティブなニュースをしっかりと作って行って、「あの尼崎！」って言うときに、やっぱりいい事例を引っ張って、皆さんに紹介できるようにしていきたいですし、なんていったって、尼崎はやっぱり人が元気で面白いというのが魅力です。

「尼崎出身のこの人がすごく素敵だな。」ってなると、「尼崎もやっぱり素敵だな。」っていう印象になりますよね。だから、出会った尼崎人がどんな人かというのが、非常に皆さんのイメージを左右すると思いますので、まず、尼崎市職員が率先をして、尼崎のトレードマークになれるような取り組みも、がんばって意識していきたいと思っています。

さて、なんか私、いつもしゃべりすぎてしまっていて、すぐに時間がなくなってしまうんですが、今回は、新規採用職員の皆さんから聞きました「市長に聞いてみたいこと、伝えたいこと」を紹介するとともに、尼崎のお勧めスポットですとか、これから尼崎で取り組んでいきたいことについて、少しお話をさせていただきました。

「市民の皆さんと一緒に、もっともっと愛されるまちにしたいと思っています。がんばります。」と言っている新人に負けないように、私たちも一緒にがんばっていきたいと思っています。

市民の皆さんもどうぞ一緒に、よろしくお願いします。

それでは、次回の放送も、どうぞお楽しみに！